

学校訪問シリーズ 14

由布市立川西小学校から学ぶ

学校の教育目標「主体性をもち、確かな学びを身につける子どもの育成」を達成するため、育成を目指す資質・能力を「思考力」と定め、学び部会＝校内研究との一体化、こころ部会＝学級活動、委員会活動との連動を中心に組織的、計画的に実践を行っています。



学校経営から学ぶ

本校は、全校児童10人なのでそれぞれの子ども達の個性を尊重しながらも、学校としての取り組みの成果と課題を分析し、2学期の重点を①自分の言葉で語る ②言葉遣い ③地域学習 と決めました。さらに、具体的な取組は学校評価の4点セットに取り入れ、短期で改善を図っています。また、その内容については、学校運営協議会でも協議を行い、SWOT分析でそれぞれの強みを明確にしながら、地域と共にある学校づくりに向かっています。



NO.155 2022年9月 由布市立川西小学校

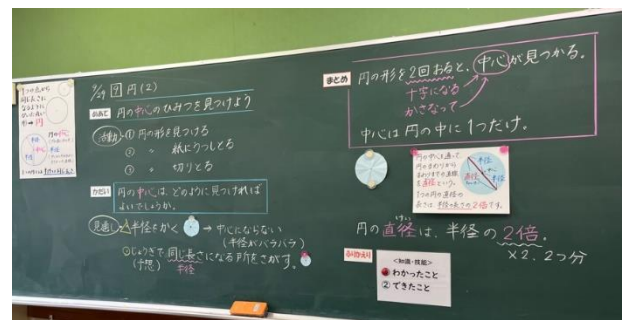
確かな学び

学んだことを確認する。そして、自分の言葉で説明する。学びが確かなものになる。

本年度より小規模特任校になり、より一層特色ある学校づくりが期待されます。子ども達が「川西小で学んで良かった。川西小で学んでみたい」と、思えるためにも、教科等横断的な視点でカリキュラムを編成したり、合科的な授業を企画することで、子どもも教職員も共に楽しみながら学び合い、高め合う実践を期待します。

授業から学ぶ

1年生図工では、「王様にスタンプ遊びを教えよう」と、教師は子どもに伝える相手を意識させながら指導を行っていたので、子どもは自分の作品の説明を上手行うことができていました。また、様々な素材を用意し、何をやっても良いような安心感を与えていたので、子どもは意欲的に取り組んでいました。



6年生算数は、教師がヒントを与え過ぎないように留意し、既習事項をもとに子ども自身の力で解けるような工夫がありました。

少人数のため、授業づくりは苦勞するでしょうが、1年生は保育園等でのような遊びを行ってきたかを知ることによりよい作品を目指したり、6年生は中学校数学の内容を扱う等、少人数だからできることを考え、単元計画を作成することをご検討願います。



NO.156 2022年9月 由布市立川西小学校

表現力

自分が選んだことだから、その理由は自分しか伝えられない。



NO.154 2022年9月 由布市立川西小学校

主体性

新たな問題に挑戦する時は、前時の内容を振り返る。調べてみる。すると、課題がみえてくる。